

つくば市立並木小学校

学校教育目標

かしこく あたたく たくましい児童の育成

<育成すべき3つの資質・能力>

I 学びに向かう力・人間性等

II 思考力・判断力・表現力等

III 知識・技能

令和6年度の学校経営の重点【組織目標】

挑戦する心を持ち、生き生きと自分で考えることのできる子どもを育成する。

●かしこい児童

未来を開く力を育む。

- ①問いから始める学びの充実
学習課題・対話・振り返り
- ②個別最適な学びと協働的な
学びの実現するためのICT
の効果的な活用
- ③本物体験の充実
生活科・つくスタ、特活
日本の伝統文化の伝承

●あたたかい児童

自分とともに周りの人を大切にする。

- ①チーム指導による学年・学級
づくり 支持的風土
- ②道徳を核とした心の教育
- ③管理から自己決定への転換を
図る特別活動の充実
- ④豊かな人間関係づくり
返事・挨拶・言葉遣い

●たくましい児童

困難に立ち向かい負けない力を育む。

- ①自己有用感・自己肯定感
の醸成
- ②小さな目標達成繰り返し
- ③基本的な生活習慣の定着
- ④危機回避能力の育成
- ⑤小さな失敗と回復経験
の積み重ね

創ろう! みんなが幸せな並木小学校

子ども・教職員・保護者・地域の方々も

子どもが成長（できるようになって）して、笑顔になり、並木小で学べる幸せ

○子供は学校の主人公

- ①できるようになる幸せ
 - ②自分が認められる幸せ
 - ③みんなと協働できる幸せ
- 子供の可能性を信じる 3つの資質・能力を責任をもって育成する

保護者・地域には、子どもの成長を目の当たりにして信頼を! 並木小に通わせる幸せ

○保護者・地域は学校の応援団 一人残らず大切にされているという実感

学校とは違う視点があるから共に育てる意味がある



教職員が子どもの成長を喜び、並木小で勤務できる幸せ やりがいを! 和顔愛語

○教職員はチーム並木の大切な仲間

「子供のために、学校のために何かを」の意識をもつ

人間を育てる覚悟をもつ 教育者としての確かな指導力を身に付ける

コミュニティ・スクール化を基盤とする保護者・地域から信頼される
学校づくり（社会に開かれた教育課程）

- ①地域とともにある学校としての情報の発信と受信
- ②年間を通した学校公開
- ③地域人材 外部講師の積極的な活用
- ④計画的な学校評価の実施と活用
- ⑤教職員の資質・能力の向上
- ⑥コンプライアンス意識の向上
- ⑦パートナーとしての保護者・地域